

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-032089

(43)Date of publication of application : 12.02.1987

(51)Int.Cl.

B41M 5/26
G03G 13/16

(21)Application number : 60-171405

(71)Applicant : CHIE KATSUSHI

(22)Date of filing : 03.08.1985

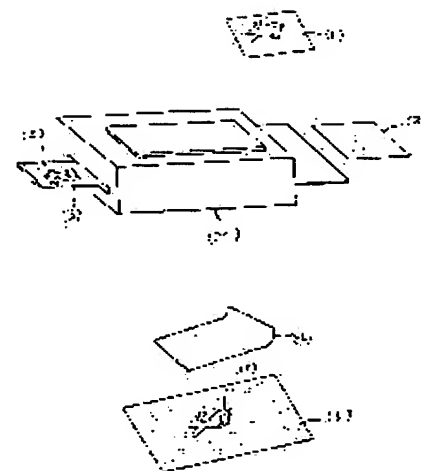
(72)Inventor : CHIE KATSUSHI

(54) METHOD FOR TRANSFERRING TONER IMAGE BY UTILIZING ELECTRONIC COPIER

(57)Abstract:

PURPOSE: To make it possible to transfer a toner image to a support to which no direct duplication can be imparted, by using copy paper coated with a solvent rich in releasability and serving an adhesive film as a medium.

CONSTITUTION: A dry copier M is utilized and copy paper having a solvent rich in releasability applied to the surface thereof is used to copy a manuscript 1 such as a character or a design by usual operation to form a toner image fixing figure 3. Because the surface of the copy paper is rich in releasability, the toner image 5 formed by this method comes to a temporary fixing state. After the adhesive surface of a transparent or translucent adhesive film 4 coated with an adhesive was laminated to the toner image fixing figure, the surface thereof is lightly pressed to release the toner image 5 which is, in turn, transferred to the side of the adhesive film 4 to form a transfer figure while this figure is adhered to the necessary area of a final support.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection][Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-32089

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)2月12日

B 41 M 5/26
G 03 G 13/16

7447-2H
7542-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 電子複写機利用によるトナー像転写法

⑯ 特 願 昭60-171405

⑰ 出 願 昭60(1985)8月3日

⑱ 発 明 者 千 枝 勝 志 宇都宮市西川田町1594番79

⑲ 出 願 人 千 枝 勝 志 宇都宮市西川田町1594番79

明 細 書

1. 発明の名称 電子複写機利用によるトナー像転写法

2. 特許請求の範囲

トナー塗付式の乾式電子複写機¹を利用して、
剥離紙等の離脱性に富んだ用紙を複写紙²を用い
て、図案等の原稿¹を通常操作で複写し、トナー
像⁵定着³図³を得る。

次に、前記トナー像⁵定着³図³に粘着剤を塗付
した透明又は半透明状の粘着性フィルム⁴を貼り
合わせた後、その表面を押圧して前記複写による
トナー像⁵部分を粘着性フィルム⁴側の粘着面に
転写させ転写⁷図⁷を得る。

最後に、前記転写⁷図⁷を任意の支持体⁶に接着さ
せて得ることを特徴とした電子複写機利用による
トナー像転写法。

3. 発明の詳細な説明

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

本発明は乾式複写機利用による図表の作成法に
本発明は乾式複写機利用による図表の作成
関する。

(従来技術)

従来一般に普及している乾式複写機¹を用いて
直接複写が不可能な支持体、例えばガラス板、プ
ラスチック製品、厚い紙等への複写は不可能であ
り、上記製品への文字、図案等の表示には、シル
ク印刷や透明フィルムへ印刷してそのシールを貼
る以外に表示法がなかった。

(本発明が解決しようとする問題点)

本発明は、乾式複写機¹を用いて、直接複写が
不可能な支持体へ、支持体がもつ美観を損なわず
文字図案等を表示する方法である。
〔発明の構成〕
〔実施例〕

以下、図面の実施例によつて説明すると、

第1図において、乾式複写機¹を利用し、表面に
剥離性に富む溶剤をコーティングした複写紙²を用
いて、文字、図案等の原稿¹を通常操作で複写し
トナー像定着³図³を作成する。

即ち、これによつて作成したトナー像⁵は、複
写紙の表面が剥離性に富むため、仮定着状態とな
るトナー像⁵は爪等で摩擦するとすぐ離脱する。

特開昭62-32089(2)

次に、前記トナー像定着図(3)に粘着剤を塗付した透明又は半透明状の粘着性フィルム(4)の粘着面を貼り合わせた後、その表面を軽く押圧してトナー像(5)を粘着性フィルム(4)側にトナー像(5)を剥ぎとり転写図(7)を作成する。

即ち、前記複写紙(2)の表面には剥離性に富む溶剤をコーティングしてあるため、転写したトナー像(5)は、仮定着状態となっており粘着剤つきフィルム(4)の粘着面に容易に剥ぎ取ることができる。

このようにして作成した転写図(7)を最終支持体(6)の必要な箇所へ貼つて、最終目的を得る。(第6図)

この際、転写図(7)は粘着性であるから粘着剤等は一切不要である。又、支持体(6)は、厚紙、プラスチック板、金属板、木板等表面が平滑な支持体であれば、材質を選ばず使用が可能である。

〔発明の効果〕

本発明は

①一般に普及している複写機で、直接複写できなかった支持体へトナー像の転写が可能である。

ガラス材等への転写にむき、半透明フィルムは紙等への転写にむく。透明、半透明フィルムの使い分けにより貼つたイメージが出ないため支持体の持つ美観を損なわない。

②本発明技術は多用途に応用可能である。

即ち、表面が平滑な支持体であれば、材質を選ばずトナー像を転写させることができ、紙、プラスチック、ガラス、金属等へトナー像の転写が可能である。又、細部への削込み転写もできる。従つて、一般家庭、学校の教材、看板、デザイン調査図、設計製図等への利用が考えられる。

従来複写機で不可能だった支持体への転写が可能となり、複写機の用途が大幅に拡大するので、経済的メリットが大である。

4. 図面の簡単な説明

第1図は一般的な複写工程で剥離剤をコーティングした複写紙へトナー像を転写を示す略図的斜視図。

第2図は第3図、第4図はトナー像定着図へ粘着剤(付着剤)を塗付し、トナー像を剥ぎ取

り転写した転写図(7)の保存と持ち運びが可能のため、複写機と最終支持体が離れた場所にあつてもトナー像の転写ができる。

③トナー定着図(3)のトナー像(5)は仮定着状態であるためこの段階でのトナー像の削除が容易に可能となるので、原稿の汚れによる修正や削除等が容易にできる。又、半透明フィルムは表面が艶消しとなつているため、鉛筆、墨等で書き加えることができる。

④最終支持体(6)へ貼つたトナー像付き転写フィルムは、耐候性、美観にすぐれる。つまり、転写された文字、図案等のトナー像は、フィルムの表面(粘着面)となるので、直接、空気、水や他物質との接触がないため耐候性耐久性に富む。又、支持体の材質によつて、透明半透明のフィルムを使い分けることにより、支持体の持つ美観を損なわず貼つたというイメージがなくなる。

つまり、透明フィルムを使用した場合は、フィルムの持つ光沢のため複写したトナー像(5)が光沢があるように見えるため、プラスチックや金属材

る工程を示す略図的斜視図。

第5図はトナー像を粘着面へ転写したフィルムを示す略図的斜視図。

第6図は最終支持体へのフィルムを貼つた略図的斜視図。

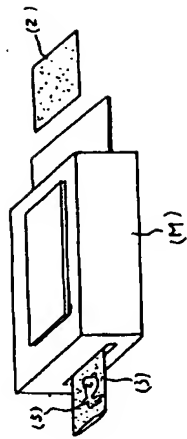
①—複写機、②—原稿、③—剥離剤をコーティングした複写紙、④—トナー像定着図、⑤—トナー像を塗付したフィルム、⑥—トナー像、⑦—トナー像中間図。

特許出願人 千枝勝

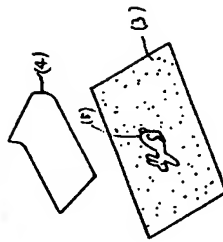




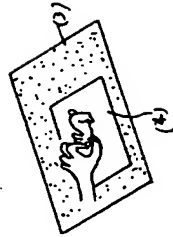
第 1 図



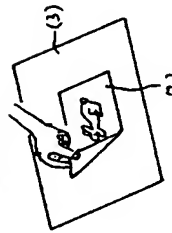
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

